

生産的活動の実践

適切な給水施設を導入した後は、適切な維持管理が必要になります。

ASVI2では、給水施設設置後の各村落へのフォローにも力を入れています。

まずは村民との話し合いの場が持たれ、水委員会が設置されます。

次に、維持管理にまつわるあらゆる障害の洗い出しを行います。

村によっては、維持管理費を管理するための経理の研修が必要となったり、維持管理費自体の支出が困難な場合があります。

各県職員の中に、
村の経済・社会状況を
把握するための
専門家がいます



どのような
生産的活動が
市場で成功するか
調査しましょう



ここで登場するのが、ASVI2の「**生産的活動**」の考え方です。

「**生産的活動**」の取り組みは、給水施設の維持管理費の支出が困難な村落に対して、既存の産業がある場合はその強化、また、村民が新たに取り組みたい産業がある場合は、その開始を支援します。

「**生産的活動**」の取り組みの例としては、手作りパン工場や、養鯉場、養羊場、野菜栽培用の温室設置などの活動がこれまでに行われてきました。

いずれの場合も、活動の内容は村落の住民と県、市の職員が一体となって考え、収益性などを検証するための市場調査等を経て実現に至ります。

収益の一部は
村落住民の生計
向上、一部は
給水施設の
維持管理費に
充てられています

